

令和2年度第4回

豊田市社会福祉審議会 高齢者専門分科会 議事録

日 時：令和2年12月22日（火）
午後2時～午後4時

場 所：市役所南庁舎5階52会議室
Web会議

■ 出席者

（豊田市社会福祉審議会高齢者専門分科会委員）

所属機関・団体名	氏名	出欠
豊田市民生委員児童委員協議会	兼子 吉彦	○
一般社団法人 豊田加茂医師会	柴原 弘明	○
愛知県立大学	田川 佳代子	○
一般社団法人 豊田加茂歯科医師会	谷川 博伸	○
日本福祉大学中央福祉専門学校	長岩 嘉文	○
社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会	中田 繁美	○
中京大学 現代社会学部	野口 典子	○
豊田市ボランティア連絡協議会	服部 亮二	○
豊田市高齢者クラブ連合会	花村 善照	○
豊田市ファミリー・サービス・クラブ	三崎 祐子	○
豊田市特別養護老人ホーム施設長協議会	三井 克哉	○
豊田市介護サービス機関連絡協議会	南 美代子	○
市民公募	村瀬 麻衣	○
一般社団法人 豊田加茂薬剤師会	山田 雄三	○
豊田市区長会（自治区）	渡邊 教	○

■ 豊田市社会福祉審議会 高齢者専門分科会 次第

第1 開 会

第2 議 事

(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関すること

【議題1】第8期計画の事業案等について（協議事項）

【議題2】第8期施設整備計画（案）について（協議事項）

【議題3】第8期介護保険事業計画における第1号被保険者介護保険料（案）について（協議事項）

(2) 今後の高齢者施策の推進と敬老金贈呈事業の見直しについて（協議事項）

第3 連絡事項

〔 議 事 内 容 〕

(分科会長)

新型コロナウイルスの感染症の拡大について心配しながらのことと思います。本日はたくさん協議事項がありますので、活発なご意見をいただきながら、スムーズに進行できればと考えています。事務局から説明をお願いします。

(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関すること

【議題1】第8期計画の事業案等について（協議事項）

概要説明（介護保険課）

- ・ 第3回高齢者専門分科会開催時・開催後の意見などへの回答について説明
- ・ パブリックコメントについて説明

(分科会長)

ご意見・ご質問などはいかがでしょう。

(委員)

資料1の1ページ目の3番目について、地域の活動団体と記載されていますが、具体的に示してください。例えば、高齢者クラブで事業を展開する際に、曖昧になっていますとメンバーへのアピール性が弱くなってしまいます。

(分科会長)

この文章は質問への回答で、計画本文ではありませんので、本文で個別にご確認すべきですが、いかがでしょう。

(事務局)

本文の中に地域の活動団体という表記があれば、具体的に記載できないか検討します。高齢者クラブをはじめ様々な団体があり、具体的に拾いながら担当課と調整をして記載していきたいと思います。

(分科会長)

概要版、冊子はいつごろでき、委員に届くのでしょうか。本来であれば、この会議で示した方が良かったと思います。

(事務局)

1月上旬までに、お届けする予定です。

(分科会長)

委員のみなさまは、届いた計画書を読み、中身のチェックをお願いします。

(事務局)

1月20日をめどにお願いします。

(分科会長)

重点施策の修正について、いかがでしょうか。在宅医療と福祉の連携強化に向けて地域リハビリテーションなどの文言が入っています。

よろしいでしょうか。資料1について、施設整備計画と介護保険料を除き、ご承認いただきました。次の議題にまいります。

【議題2】第8期施設整備計画(案)について(協議事項)

概要説明(介護保険課)

- ・計画(案)の修正点について説明

(分科会長)

第8期の介護保険料に関わるのですが、修正について、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。ご承認いただきました。次の議題にまいります。

【議題3】第8期介護保険事業計画における第1号被保険者介護保険料(案)について(協議事項)

概要説明(介護保険課)

- ・介護保険料(案)について説明

(分科会長)

報酬改定率2%で想定した保険料ということですね。所得段階、準備基金の取り崩しなど、ご意見・ご質問はいかがでしょうか。年間所得が500万円以上の方の負担割合を変えるということです。

(委員)

500万円以上の対象者はこれから増えるのでしょうか。

(事務局)

新型コロナの影響もあって、8期だけをみると、所得が増える人はそれほどいないと思われます。

(分科会長)

経済の見通しも含めて、なかなか増えないような気がします。前回との兼ね合いは大丈夫でしょうか。

(事務局)

今回の計算上では、それぞれの段階の上昇幅について、これまでとあまり変わらないように配慮しています。低所得者層への配慮を考えてのご提案です。なお、報酬改定が決まっていないので、現在の状況で算出しています。

(分科会長)

応能負担は国の大原則ですが、低所得者の分を所得がそれなりに順調である人が負担するという共助のところでは。

(委員)

13段階にするというのは、豊田市では今回初めてと思いますが、保険料率や所得の境界について、いくつかのシミュレーションをしているのでしょうか。他市をみると、一番低い段階の保険料率が、豊田市は0.5ですが、0.25のところもあります。

(事務局)

現在1～3段階の低所得者層の保険料は、公費が投入され、これより低くなっていますが、その比率を国が変更することについて今の段階では示されていません。所得段階や保険料率について、いくつかシミュレーションをしまして、例えば、国の基準にしますと基準月額はやや安くなります。低所得者層の方はもとより、被保険者の各所得の方の状況を考えながら、基準額を比較的抑えるために、いくつかのシミュレーションをした結果のご提案です。

(分科会長)

公費の投入を想定すると低所得者の保険料率は資料よりさらに低下しますね。準備基金の取崩はいかがでしょうか。豊田市の場合、今回たくさん取り崩すと9期に保険料が大幅に上がってしまうことに留意する必要があります。また、報酬改定が0.7%程度になる可能性もあり、保険料収納必要額がもう少し下がる可能性があります。

(分科会長)

よろしいでしょうか。はい。ご了解いただきました。

パブリックコメントでは、金額が一人歩きしがちですので、わかりやすく、もう少し説明をしておいた方が良くと思います。

(事務局)

はい。パブリックコメントにおいて、資料に説明を加えたいと思います。

(2) 今後の高齢者施策の推進と敬老金贈呈事業の見直しについて（協議事項）

概要説明（介護保険課）

- ・ 敬老金贈呈事業の見直し案について説明
- ・ 高齢者福祉計画の主な事業（案）について

（分科会長）

事業の見直しについて、協議事項でしょうか。意見収集の場でしょうか。

（事務局）

分科会では、見直しの必要性、見直しの考え方について、ご意見をいただき、市で検討します。

（分科会長）

意見収集の場ということですね。

（委員）

7期計画をみますと、趣旨として長年の社会貢献への感謝とその長寿を祝うことで高齢者の活力の向上を図ると表記されています。活力の向上に祝い金が使われているかという趣旨とずれている気がしますので、見直しをしてもよいのかなと思います。限りある財源の中、他の施策の拡充があり、有効に使われればよいかなと思います。

（委員）

社会福祉協議会も市と調整しながら同様の取組をしまして、私たちも一体的に考えているところです。長寿祝いとして、ここまで元気で生きたことについて励みになるお祝いにつなげたいと考えています。敬老金という言葉より、長寿をお祝いするという方向で社会福祉協議会は考えていきたいと思っています。お祝い金として、現在の在り方と違ってよいと思い、変更案を考えています。

（委員）

それぞれの市の考え方と思います。介護事業所からみますと、長寿の方が多くなりました。私たちも、お金というより、心からお祝いをさしあげています。金額についてどうこうというより、市の財政のことを考えていくと、そんなに無理しなくてもと思います。言葉などでお祝いすることうれしいものになると思います。

（委員）

こういうご時世ですので、見直しは賛成です。ただ、お年寄りを敬うという心は大切です。メッセージを直接もらうことも心地よく、幸せを感じます。ものが豊か

になった反面、心が貧しくなったと思います。そういう観点から皆で知恵を出して、豊田流のお祝いの仕方を考え工夫するよい機会かと思っています。

(委員)

私は見直し案2が妥当な発想と思いました。ただ、いきなり、来年度・再来年から実施でなく、周知をして理解していただく期間をつくるのが1つのポイントと思います。

(委員)

個人的な考えですが、敬老の気持ちを呈するというのは有意義かと思っています。ただ、新型コロナの中、今回は直接わたすのでしょうか。

(事務局)

今年度は郵送をしています。

(委員)

ウィズコロナの中での贈呈方法については、状況に応じた方法をとっていく必要があるかと思っています。財源が必要なことですので、ある程度の見直しはあるかと思っています。

(委員)

金額は、財政もあり、このご時世もあり、それに見合った形で決めていければよいかと思っています。ものの豊かさよりも心の豊かさについて普段からとても感じています。100歳となると社会との関わりが減ってくると思いますので、目に見えるお金やものというより、いろいろな人と一緒にお祝いできるような、新型コロナの中難しいこともありますが、そういうお祝いの仕方があるとよいかと思っています。

(委員)

見直しは必要と感じます。財源もあり金額的なものはありますが、長生きしてよかったと思える機会、気持ちを届けるきっかけであってもよいと思います。本人はもとより家族や支えている人も含めて、みんながよかったなと思ういい考えが出てくるとよいと期待しています。

(委員)

先ほどからの話でよいかと思っています。高齢者等にどのような方法で連絡しますか。なるべく早い段階から、変更の情報提供が必要だと思います。

(委員)

区長をしていて、地域の中で敬老会、米寿のお祝いをしています。米寿の会では、みなさんにお話ししていただく機会を作りました。一生に一度の会というのが、みなさんへのお祝いかと思っています。また、福祉といっても高齢者だけでなく、子どもへの比率を高めていくことが重要と思っています。

(委員)

私は現状でよいと思います。人間の目的は生きること、長寿で生きるということが生きがいになっていることもあり、それを表彰することは重要と思います。市の財政もありますが、一人暮らしのお年寄りに会うよい機会にもなっています。

(委員)

いろいろな意見があり難しいと思いますが、敬老金という現金給付の今後の在り方は、見直しの方向に行くのではないかと感じています。福祉の持つ在り方が変わってきていると思います。与えられる福祉だけでなく、自ら福祉を創る主体として高齢者が参加していくというスタンスで福祉をとらえれば、高齢になったから現金給付するというのは、他の世代の人からの理解がどこまで得られるのだろうかと思いますので、見直しは賛成です。

(分科会長)

福祉は時代背景により在りようが変わってきます。見直しというのは常にしなければならぬと思います。1点お願いがありまして、長く生きていることに幸せを感じる日本になっているかが問題で、様々な生活の条件があると思いますが、社会の存在として長寿をきちんと認めているのかが重要になるのと、長く生きた人間は次の時代がどうなっていくのかを懸念していて、次の世代とつながっていることで自分の安心安全を担保できます。長寿を祝うというのは豊田に住んでいる次世代とつながっているという実感が最も大切ではないかと思います。豊田に育つ子どもたちとお年寄りをつなげ、豊田や日本とつながっていることを実感させるようなお祝いの在り方があってもよいと思います。お金の使い方も含めて、見直しをしていただければと思います。

いろいろな意見があり、みなさんのご意見がありますので、なるべく丁寧に意見を聞きながら、急激な変化は誤解を招くことも多々ありますので、どういう方針かみなさんに周知していただければと思います。

(委員)

在宅医療と福祉の連携のところでACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進がありました。これは必要ですが、昨年、国の人生会議のPRが不評だった経緯があるように、終末期にどういう意思決定するのかはセンシティブな問題で、丁寧に慎重に取り組む必要があると思います。

施設整備について、本日の案は賛成ですが、住宅型有料の特定施設への移行について、国からも方針が出ていて地域の資源を有効に使うということは結構です。ただ、私が危惧するのは、その移行で特養ベースのケアの質が確保できるかというこ

とが心配です。重度の方を受け入れているという実績とケアの質は異なるので、注意深く進める必要があります。

グループホームについて、未整備地区に優先的に整備するのは妥当な考えと思いますが、未整備地区には開設意向がなく他地域では開設意向がある場合、どのようにするのかということがあります。

(事務局)

A C Pについて、ご指摘の通りと思います。有料老人ホームの特定施設化によって監査や指導ができますので、質も含めてしっかりとみていきたいと思います。グループホームについても、ご指摘の通りで、これまでの公募につきましても、優先地域と他地域の2段階で募集するなど工夫をしています。

(分科会長)

マスクをしながら2時間にわたる会議にご協力をいただき、ありがとうございました。皆様、ご無事で次の2月の会議にお会いしましょう。

3 連絡事項

(事務局)

今回は、今年度の最後の分科会になります。2月10日にエコフルタウンでの開催を予定しております。次回の議題は、パブリックコメントの実施計画の報告、第8期計画の答申、地域包括支援センター運営協議会を予定しています。また、パブリックコメントの資料の本編について、年明けに早急に皆様にお送りしたいと考えていますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。これを持ちまして閉会をします。

以上